

# 状 況 報 告 書

## 介護老人保健施設

### (介護予防)短期入所療養介護

【介護老人保健施設】

【(介護予防)短期入所療養介護】

施設名		事業所名	
-----	--	------	--

#### 状況報告書の構成

シート名	構成内容	シート名	構成内容
表紙	施設名・事業所名 状況報告書の構成	p8	(6) 苦情対応について ア 苦情解決の仕組み イ 苦情の考え方 ウ 苦情の概況 エ 職員への苦情対応の周知方法
p1	1 入所者等の状況 (1) 前年度入所者等実績調べ (2) 日中定員超過の状況 (3) 行動障害のある入所者等		p9
p2	2 職員等の状況 ○運営指導実施月の前々月における職員の状況	p10	
p3	3 施設の取組状況 (1)取組状況一覧(前年度分)		p11
p4	4 入所者等に対する処遇方針及び取組状況 (1) 身体的拘束等の適正化に関する取組 (2) 身体的拘束等の実施状況 ア 身体的拘束等の状況		
p5	イ 身体的拘束等の実施状況 ウ 身体的拘束等の実施事例		
p6	(3) 虐待防止への取組 (4) 事故発生防止等に関する取組		
p7	(5) 事故等の発生状況 ア 入所者等の事故発生状況 イ 事故とヒヤリ・ハットの区分けの考え方 ウ 事故の市町村報告基準等 エ 事故・ヒヤリ・ハット事例の実績		

※ 作成する内容により表に入力する時点や期間が異なるので、各ページに記載の指示に従ってください。

1 入所者等の状況

(1) 前年度入所者等実績調べ

年月 (前年度の状況を記入 してください)  ※運営指導実施月が4月または 5月の場合は前々年度の状況を 記入してください。	営業日  (a)	介護老人保健施設		短期入所療養介護			
		施設入所者 延べ数	前年度(月) 平均入所者 数	短期入所 利用者延 べ数	介護予防 短期入所 利用者延 べ数	短期入所 合計延べ 数	前年度 (月)平均 利用者数
		ア	イ=ア÷(a)	ウ	エ	オ=ウ+エ	カ=オ÷(a)
令和 年 4 月	30		0.0			0	0.0
令和 年 5 月	31		0.0			0	0.0
令和 年 6 月	30		0.0			0	0.0
令和 年 7 月	31		0.0			0	0.0
令和 年 8 月	31		0.0			0	0.0
令和 年 9 月	30		0.0			0	0.0
令和 年 10 月	31		0.0			0	0.0
令和 年 11 月	30		0.0			0	0.0
令和 年 12 月	31		0.0			0	0.0
令和 年 1 月	31		0.0			0	0.0
令和 年 2 月	28		0.0			0	0.0
令和 年 3 月	31		0.0			0	0.0
合計	365	0	0.0	0	0	0	0.0

※1 入院又は外泊期間中(施設サービス費を算定しない期間)は、入所者数に含めないこと。

※2 イ及びカについては、小数点第2位以下を切り上げた数値を記載すること。

(2) 日中定員超過の状況

【運営指導実施月の前々月から過去1年分】

日中の時間帯に定員を超える利用者 に対し同時にサービスを提供した事例	
「有」の場合、その状況について記載してください。 (発生期間、発生頻度、理由等)	

※1 具体的に記載してください。

※2 【運営指導実施月の前々月から過去1年分】の例:

運営指導が令和8年4月に行われる場合  
→令和7年3月から令和8年2月まで

(3) 行動障害のある入所者等

【運営指導実施月の前々月から過去3月分】

対象者(ニナル等)		行動障害の内容	左に対する対応等 ※2	利用開始からの 身体拘束実施の有無	事業別
性別	年齢				

※1 行動障害(徘徊、大声を発する、乱暴な口の利き方等を頻繁に繰り返すなど)のある入所者・利用者について記載してください。

※2 行動障害のある入所者等に対して、施設(事業所)として行っている対応等(介護方法の工夫、外部との連携など)を記載してください。

※3 【運営指導実施月の前々月から過去3月分】の例:運営指導が令和8年4月に行われる場合→令和7年12月から令和8年2月まで



### 3 施設の取組状況

#### (1) 取組状況一覧（前年度分）

※1 実施している場合はブルダウンリストから○を、未実施の場合は×を、実施が不十分な場合は△を選択してください。

※2 グレーで色付けされた部分は、基準上定めのない事項です。

※3 「実施日を記入」と記載された欄の記入例：

4月1日と10月1日に実施した場合、4/1、10/1と記入してください。

項目	計画の策定	従業者への周知	定期的な見直し	委員会		指針	研修	訓練	担当者	運営規程
					従業者への周知					
業務継続計画（BCP）	災害						実施日を記入 ※年2回以上及び新規採用時	実施日を記入 ※年2回以上		
	感染症						実施日を記入 ※上記回数に含む	実施日を記入 ※上記回数に含む		
非常災害対策								実施日を記入		
衛生管理				実施日を記入 ※おおむね3月に1回以上			実施日を記入 ※年2回以上及び新規採用時	実施日を記入 ※年2回以上		
事故防止				実施日を記入			実施日を記入 ※年2回以上及び新規採用時			
身体的拘束				実施日を記入 ※3月に1回以上			実施日を記入 ※年2回以上及び新規採用時			
虐待の防止				実施日を記入			実施日を記入 ※年2回以上及び新規採用時			
利用者の安全並びに介護サービスの質の確保及び職員の負担軽減に資する方策を検討するための委員会 ※R9.4.1～義務化				実施日を記入						

4 入所者等に対する処遇方針及び取組状況

(既存資料の活用も可能です。)

		身体的拘束等の適正化のための対策を検討する委員会等の開催状況			
		委員会設置規定	委員会等の名称	開催頻度	開催年月日(直近3回分)
(1) 身体的拘束等の適正化に関する取組	委員会等の検討内容の職員への周知方法				
	身体的拘束等の適正化のための研修の開催(前年度分)			身体的拘束等を実施する際の手続き	
	開催年月日	研修内容	① 「切迫性」「非代替性」「一時性」の三要件すべて満たしており、緊急やむを得ない場合であることを検討・確認していますか。		
			② 開始に当たっての検討の記録を作成していますか。		
			③ 利用者や家族に対し、身体的拘束等の内容、目的、理由、拘束の時間、時間帯、期間等を説明し、理解を得ていますか。		
			④ 実施の際には、その態様及び時間、その際の利用者の心身の状況、緊急やむを得なかった理由等を記録していますか。		
			⑤ 身体的拘束等を実施している事例について「切迫性」「非代替性」「一時性」の三要件に該当するか、再検討していますか。		
	身体的拘束等の適正化のための指針の有無			⑥ 再検討の記録を作成していますか。	

(2) 身体的拘束等の実施状況

ア 身体的拘束等の状況(過去、身体的拘束等を行ったことがある場合に記載してください。なお同一人物で同じ拘束方法であれば1人としてください。)

【介護老人保健施設】

【運営指導実施月の前々月から過去1年分】

	年月	年月	年月	年月	年月	年月	年月	年月	年月	年月	年月	年月
実人数												

【短期入所療養介護】

【運営指導実施月の前々月から過去1年分】

	年月	年月	年月	年月	年月	年月	年月	年月	年月	年月	年月	年月
実人数												

※1 【運営指導実施月の前々月から過去1年分】の例:運営指導が令和8年4月に行われる場合→令和7年3月から令和8年2月まで

※2 【前年度分】の例:運営指導が令和7年度中に行われる場合→令和7年度

※3 不足分は行を追加して記載してください。

イ 身体的拘束等の実施状況(前頁 ア に挙げた入所者等について記載してください。)

【運営指導実施月の前々月から過去1年分】

拘束内容	実人数	
	介護老人 保健施設	短期入所 療養介護
体幹や四肢をひも等で縛る		
ベットの柵(サイドレール)で囲む		
手指の機能を制限するミトン型の手袋等をつける		
Y字型拘束帯、腰ベルト等をつける		
つなぎ服等の着用		
自分の意思で開けることのできない居室等への隔離		
その他( )		
計	0	0

※【運営指導実施月の前々月から過去1年分】の例:運営指導が令和8年4月に行われる場合→令和7年3月から令和8年2月まで

ウ 身体的拘束等の実施事例(イに記載した者のうち、「緊急やむを得ない身体的拘束等に関する説明書」の確認日付の新しい者3名の状況を記入してください。)

氏名		性別	要介護度	事業別						
No.	確認日 (直近)	身体的拘束等 の方法	個別の状況による拘束の必 要な理由	切 迫 性	非 代 替	一 時 性	拘束の時間帯及び時間	特記すべき心身の状況	拘束開始及び解除の予定 (拘束実施期間)	拘束に 係る記 録
1										

氏名		性別	要介護度	事業別						
No.	確認日 (直近)	身体的拘束等 の方法	個別の状況による拘束の必 要な理由	切 迫 性	非 代 替	一 時 性	拘束の時間帯及び時間	特記すべき心身の状況	拘束開始及び解除の予定 (拘束実施期間)	拘束に 係る記 録
2										

氏名		性別	要介護度	事業別						
No.	確認日 (直近)	身体的拘束等 の方法	個別の状況による拘束の必 要な理由	切 迫 性	非 代 替	一 時 性	拘束の時間帯及び時間	特記すべき心身の状況	拘束開始及び解除の予定 (拘束実施期間)	拘束に 係る記 録
3										

※ 「確認日」には、「緊急やむを得ない身体的拘束等に関する説明書」の入所者等の確認日を記入してください。

虐待の防止のための対策を検討する委員会等の開催状況			
委員会設置規定	委員会等の名称	開催頻度	開催年月日(直近3回分)
委員会等の検討内容の職員への周知方法			
虐待の防止のための研修の開催状況(前年度分)			
開催年月日	研修内容		
虐待防止のための指針の有無		虐待の防止に関する措置を適切に実施するための担当者(職種・氏名)	

事故防止検討委員会等の開催状況			
委員会設置規定	委員会等の名称	開催頻度	開催年月日(直近3回分)
委員会等の検討内容の職員への周知方法			
事故発生の防止のための研修の開催状況(前年度分)			
開催年月日	研修内容		
事故発生の防止のための指針の有無		事故発生の防止に関する措置を適切に実施するための担当者(職種・氏名)	
事故発生時の再発防止策の検討状況	検討する職員		
	検討時期・方法		
事故内容及び再発防止策の職員への周知方法			
再発防止策の検証状況	検討する職員		
	検討時期・方法		

※1 【前年度分】の例:運営指導が令和8年度中に行われる場合→令和7年度

※2 不足分は行を追加して記入してください。

(5) 事故等の発生状況

ア 入所者等の事故発生状況（入所者等への影響が大きいもの5件程度）

【運営指導実施月の前々月から過去1年分】

対象者インシャル等		事故等の概要 (発生日時、発生場所、利用者の症状等)	再発防止策	市町村 への 報告	事業別
性別	年齢				

※1 入所者等への影響が大きいものとは、入所者等の死亡・負傷(医療機関への受診を要したもの)及び誤薬、盗難、傷害事件、行方不明、個人情報紛失等

※2 【運営指導実施月の前々月から過去1年分】の例:運営指導が令和8年4月に行われる場合→令和7年3月から令和8年2月まで

イ 事故とヒヤリ・ハットの区分けの考え方 ※どのように事故やヒヤリ・ハットを定義しているか記入してください。(介護老人保健施設と短期入所療養介護で定義が異なる場合はそれぞれ記入)

区分	事故	ヒヤリ・ハット
内容(定義)		

ウ 事故の市町村報告基準等

( 年 月 時点 )

どのような事故を市町村へ報告することとしているか、報告基準を下記に記入してください。	報告基準の市町村への確認

エ 事故・ヒヤリ・ハット事例の実績(前年度分)

事故内容	件数		ヒヤリ・ハット内容	件数	
	介護老人 保健施設	短期入所 療養介護		介護老人 保健施設	短期入所 療養介護
転倒・転落			転倒・転落しそうになる		
打撲			挟まる・ぶつかりそうになる		
皮下出血			誤嚥・誤飲		
裂傷・表皮剥離			異食		
誤嚥・誤飲			誤薬・与薬		
異食			環境不整備(し忘れ)		
誤薬・与薬			離設		
離設			その他		
その他					
計	0	0	計	0	0

※1 【前年度分】の例:運営指導が令和8年度中に行われる場合→令和7年度

※2 表の内容は例示ですので、独自の区分があれば修正してください。既存の資料等があれば、それを添付することで代えることができます。

(6) 苦情対応について

ア 苦情解決の仕組み

【資料作成日現在】

	設置の有無	職・氏名 等	
		職名	氏名
苦情受付担当者			
苦情解決責任者			
第三者委員		役職名	氏名
苦情解決のためのマニュアル			

イ 苦情の考え方

【資料作成日現在】

どのようなものを苦情として扱っているか、施設・事業所の考え方を記入してください。

ウ 苦情の概況

前年度の受付件数	件	同一人による苦情申出の有無
前年度受け付けた苦情の主な事案		
受付年月日	苦情申出者名	苦情内容及びその対応
	入所者との関係 ( )	
	入所者との関係 ( )	
	入所者との関係 ( )	
	入所者との関係 ( )	
	入所者との関係 ( )	

※ 【前年度】の例: 運営指導が令和8年度中に行われる場合→令和7年度

エ 職員への苦情対応の周知方法

【資料作成日現在】

苦情内容及び当該対応の情報について、職員へどのように周知を図っているか、その周知方法を記入してください。

(7) 感染症・食中毒の防止対策

感染対策委員会等の開催状況					
委員会等の設置規定の有無	委員会等の名称	開催頻度	開催年月日(直近3回分)		
感染対策委員会等の検討内容の職員への周知方法					
感染症及び食中毒の予防及びまん延の防止の研修の開催状況(前年度分)					
開催年月日	研修内容				
感染症及び食中毒の予防及びまん延の防止のための指針の有無		感染症及び食中毒の予防及びまん延の防止の訓練の開催年月日(前年度分)	1回目		2回目

(8) 研修について

【資料作成日現在】

従業者等の研修計画		外部研修の内容を職員へ周知する方法	
研修欠席者への研修内容の周知方法			

(9) 職員の秘密保持対策について

【資料作成日現在】

従業者又は従業者であった者が正当な理由なく、業務上知り得た入所者等又はその家族の秘密を漏らすことのないよう、どのような措置を講じているか記入してください。

(10) 業務継続計画の策定について

【前年度実績】

計画策定の有無		訓練の実施年月日	1回目		2回目	
感染症及び災害に関する研修の開催状況						
開催年月日	研修内容					

※1【前年度実績】の例:運営指導が令和8年度中に行われる場合→令和7年度実績を記入してください。

※2 不足分は行を追加して記載してください。

(11) 非常災害対策

ア 防火管理者の状況

【資料作成日現在】

防火管理者 職・氏名		防火管理者講習 受講年月日	年 月 日 受講
防火管理者 選任年月日	年 月 日 選任	消防署への届出 年月日	年 月 日 届出

イ 消防計画の状況

【資料作成日現在】

消防計画作成 年月日	年 月 日 作成	消防署への届出 年月日	年 月 日 届出
---------------	----------	----------------	----------

ウ 水防法・土砂災害防止法に関する状況

【資料作成日現在】

市町村地域防災計画に定められた浸水 想定(土砂災害警戒)区域内の要配慮 者利用施設の該当		(左記が「該当」の場合のみ) 災害対策計画等の市町村への 提出状況	
--	--	---	--

エ その他の災害計画の策定状況

【資料作成日現在】

災害名	災害対応マニュアルの 作成の有無	災害対応マニュアルへの位置付けの有無		
		避難場所	避難経路	自力避難困難者等の避難方法
火災				
地震				
風水害				
津波				
土砂災害				
マニュアル作成等に当たり、関係機関 (消防署・市町村等)との協議の有無				

オ 消防・防災訓練の状況

【前年度実績】

区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
消 防 訓 練	※該当箇所に○印														
	実施日														/
	実施内容	避難													0
	救助													0	
	通報													0	
	消火													0	
	消防署への事前通知													/	
	消防署の立会い													/	
近隣施設・地域住民の参加													/		
その他の防災訓練( )													/		

※1 【前年度実績】の例:運営指導が令和8年度中に行われる場合→令和7年度実績を記入してください。

※2 各月の「実施日」には実施した日付を、「計」には実施回数を記入してください。

※3 「その他の防災訓練」については、実施日を記入してください。

5 前回指導監査で指摘された事項の改善状況

(1) 過去に介護保険法に基づく運営指導・書面監査・監査等を受けたことがありますか。		有 ・ 無 ・ 不明
(2) 受けたことがある場合、前回の区分と指摘事項及び改善状況について下記に記入してください。		
区 分	指 摘 事 項	改 善 状 況
運営指導 ・ 書面監査  監査 ・ その他  ( ) 実施年月日：	(改善報告を求める指摘)	
	(改善報告を求めない指摘)	

- ※1 (1)、(2)ともに該当する箇所を選択または「○」を記入してください。
- ※2 当時の記録がなく、指摘事項が判らない場合は「不明」と記入してください。
- ※3 記入しきれない場合は別紙としてください。